

報道関係各位

2021年11月30日

Space BD 株式会社

**Space BD 日本のローンチサービスプロバイダー初
米 SpaceX「Falcon 9」ロケットを活用した
衛星打上げサービスを開始
初回打上げは 2022 年 10 月を予定**

国内外の多種多様な需要増加に対応、打上げ手段を本格的に拡大



宇宙産業における総合的なサービスを展開する Space BD 株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:永崎将利)は、当社中核事業の一つであるローンチサービス事業において、従来の国産打上げ手段に加えて海外の打上げ手段の取り扱いを開始いたします。初回打上げとして、米 Space Exploration Technologies Corporation 社(本社:米カリフォルニア州、CEO:イーロン・マスク、以下 SpaceX)と SpaceX 社が製造・提供するロケット「Falcon 9」の衛星打上げ枠の利用権について契約を締結しました(打上げ予定:2022年10月、ミッション名:Transporter6)。なお「Transporter6」以降も継続した海外の打上げ手段を調達していく予定です。

当社に寄せられる宇宙利活用の需要は多種多様に拡大しています。これまで中心だった国産の打上げ手段に加えて、海外の打上げ手段を確保することで、よりフレキシブルな打上げ時期のご提案、幅広いサイズの衛星への対応、および希望の軌道への打上げを実現していきます。またこれまでも Space BD が強みとして掲げてきた技術的な打上げ・運用支援をワンストップで提供していくことで、世界で競争力のある打上げサービスへ向上させます。

Space BD は 2018 年に JAXA が初めて民間開放をした「国際宇宙ステーション(ISS)からの超小型衛星放出事業」において民間事業者として選定されて以来、国際宇宙ステーションの利活用や次世代基幹ロケットである H3 の相乗り枠、次期 ISS 輸送船となる HTV-X を活用した衛星放出機会の提供等、JAXA の所有する打上げ機会を利活用する形で国内外のユーザーに約 50 機以上の打上げサービスを提供してきました。

Space BD は、宇宙への輸送手段の選択肢の拡大を通じて多様な需要に対応できる環境を整えることで宇宙空間を産業的に活性化させます。これを通じ宇宙利活用を日本発の世界を代表する産業に発展させることを引き続き目指してまいります。

Space BD 取締役 COO 兼ローンチサービス事業本部長 金澤 誠のコメント



当社は衛星打上げサービス業界におけるリーディングカンパニーとして、ISS「きぼう」をはじめとする本邦宇宙アセットを最大限活用し、衛星開発者様に対して打上げ手段の調達及び各種技術支援を一貫型で提供してまいりました。この度の SpaceX 社との提携は、グローバル視野での打上げ手段多角化の第一歩と位置付けております。引き続き、ユーザー様にとって最適な宇宙へのアクセスを提供するべく、事業開発及びエンジニアリングの両面から汗をかいてまいります。

■ Space BD について

Space BD は、日本の宇宙ビジネスを、世界を代表する産業に発展させることを目指す「宇宙商社®」です。2017 年の創業以来、宇宙への豊富な輸送手段の提供とともに国際宇宙ステーション(ISS)を初めとする宇宙空間の利活用において、ビジネスプランの検討からエンジニアリング部門による技術的な運用支援までをワンストップで提供してまいりました。これまで衛星取扱い 50 機以上を含め 100 件以上の受注実績を重ね、宇宙商社として幅広く展開しています。

社 名 : Space BD 株式会社

本 社 : 東京都中央区日本橋室町一丁目 5 番 3 号 福島ビル 7 階

代 表 者 : 代表取締役社長 永崎将利

設 立 : 2017 年 9 月 1 日

事業内容 : 宇宙における各種サービス事業・教育事業

U R L : <https://space-bd.com/>